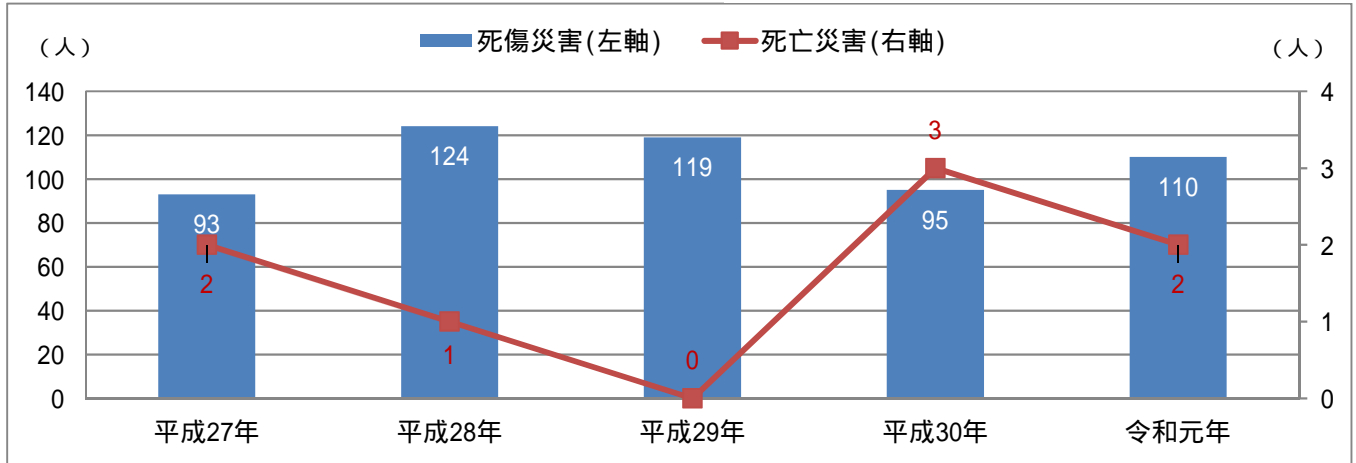


ストップ 労働災害！

徳山労基署管内の労働災害は増加に転じる

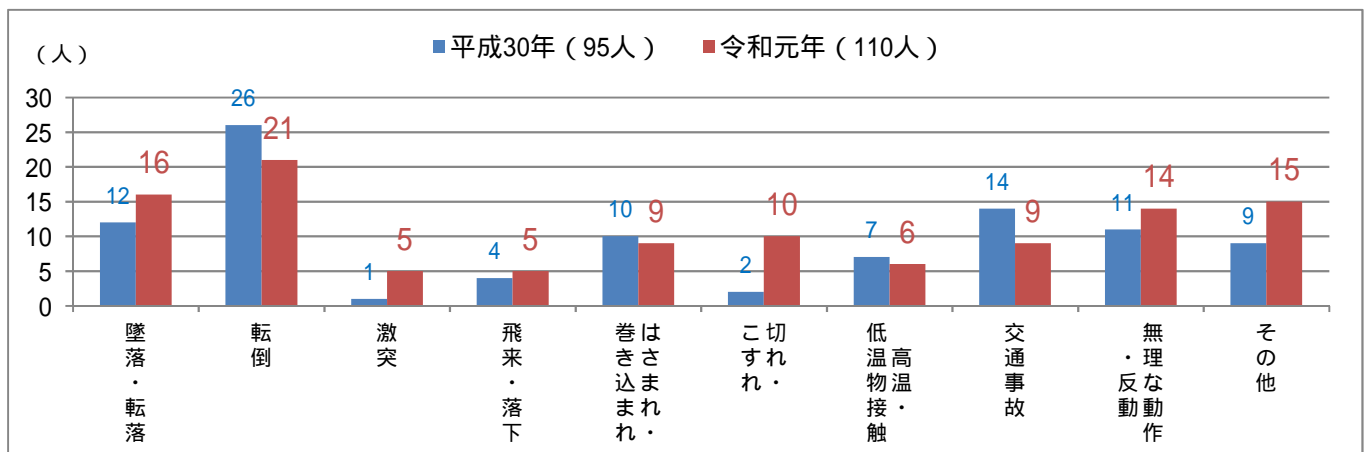
1 過去5年の発生状況

(休業4日以上の死傷災害)



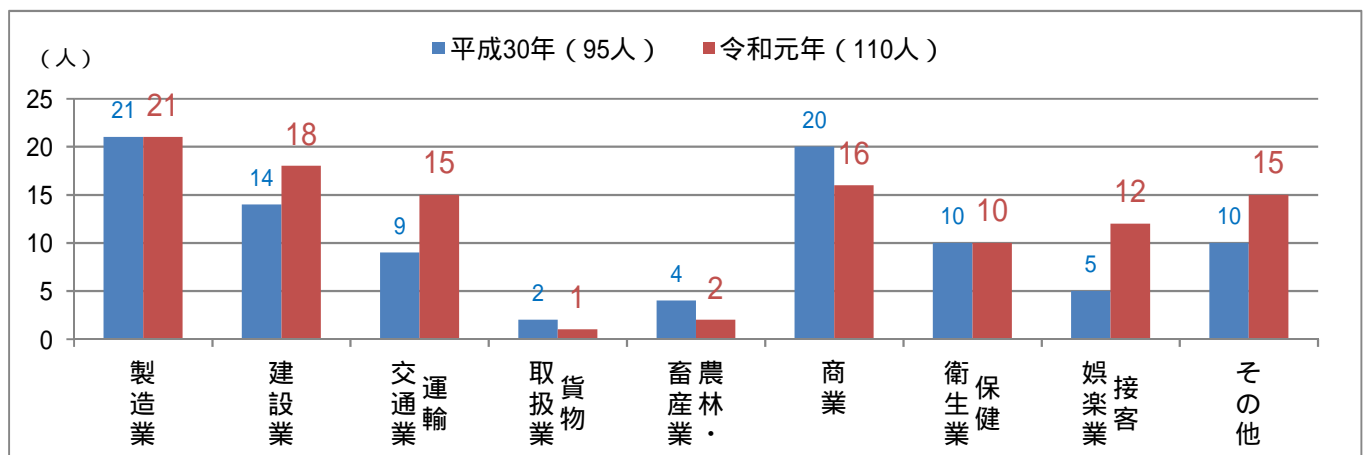
死傷災害は前年に比べ **15.8%増加**

2 事故の型別でみた発生状況



すべる等の**転倒**が最も多い 刃物等での**切れ・こすれ**の増加目立つ

3 業種別でみた発生状況



飲食店等の**接客娯楽業**、貨物運送等の**交通運輸業**が大幅に増加

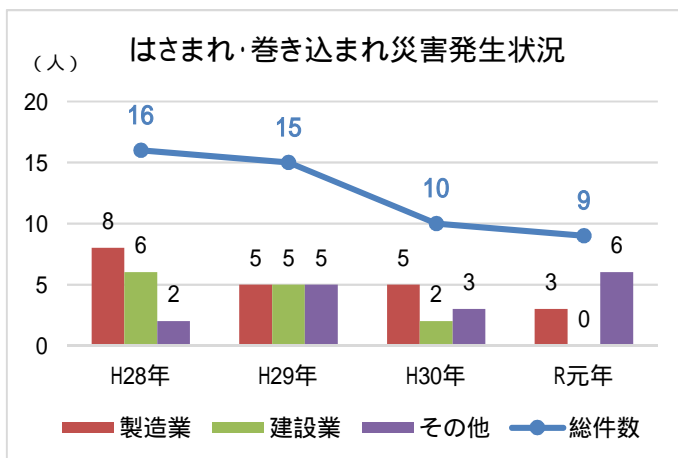
はさまれ・巻き込まれ災害の防止について

1 徳山労基署管内での「はさまれ・巻き込まれ災害」の発生状況

後遺症が残ることも

令和元年（平成31年）は前年から減少しましたが、製造業や建設業以外の業種が占める割合が増加しました。

災害の特徴は、手指を、物と物との間に「はさまれる」ことが多いものです。骨折にとどまらず、切断に至ることさえあり、日常生活に大きな影響が出るおそれが高くなります。



2 徳山労基署管内での昨年(平成31年1月)以降の発生災害事例(抜粋)

年	業種	発生状況
元年	製造業	旋盤でパイプを研磨していたところ、サンドペーパーがすべり、回転中のパイプとサンドペーパーとの間に右手をはさまれた（右小指切断）。
	畜産業	停止したコンベアで詰まった異物を取り除いていたところ、他の労働者がこの作業に気づかずスイッチを入れてコンベアを起動させたため、右手が巻き込まれた（右前腕切断）。
	運送業	ダンプトラックの点検中、車体後部のあおりにはさまった石を取り除こうとしたところ、あおりが閉まったため、左手をはさまれた（左中指薬指骨折）。
	その他の商業	複数の労働者で1台の車を洗車中、開けていた後部のドアを閉めたところ、他の労働者の右手が車体後部とドアの間にはさまれた（右薬指開放骨折）。
2年	基礎工事業	杭の建込作業中、つり上げていた杭がリン木（端太角）に当たったことでキャンパー（輪止め）が外れ、リン木の上に載せていた杭が落ちて転がったため、近くにいた労働者の左足がはさまれた（左足指開放骨折）。
	機械器具設置工事業	ブロワーの軸受取替作業で、ケーシング内の羽根車が軸から落下しないよう左手で支えていたところ、羽根車が落下し、羽根車とケーシングとの間に左手をはさまれた（左薬指小指開放骨折）。
	清掃業	廃棄物の収集運搬でパッカー車の後部投入口に残った段ボールを巻き込み機にかませようとしたところ、左手が巻き込まれた（左親指骨折）。

☑ 安全に作業を行うためのポイント

～ 災害発生は一瞬 安全意識は習慣 ～

機械の運転中に発生する不具合を解消するための一時的な作業（調整）や掃除等を行うときは、機械の運転を確実に停止しましょう。
調整中や掃除中等に、作業者の存在に気づかず、他の労働者が誤って機械を起動させないため、施錠や表示のほか、機械トラブル発生時の対処を日頃から再確認しましょう。
作業開始前に、どうすれば安全に働けやすくなるか、という視点で今までの作業方法を考える機会をつくってみましょう。



墜落・転落災害の防止について

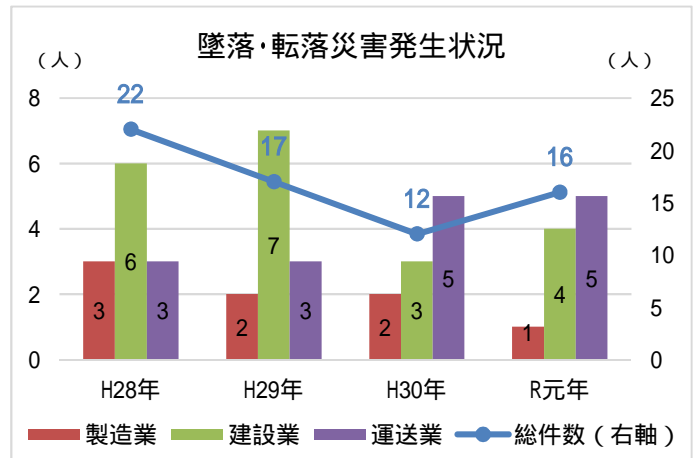
1 徳山労基署管内での「墜落・転落災害」の発生状況

令和元年に死亡災害が発生

令和元年（平成 31 年）は前年から増加し、死亡災害が建設業で発生しました。

業種別では運送業が 2 年連続で最も多く、トラックの荷台で作業中に墜落する災害が多く起きています。

令和 2 年にも、建設業では重篤な災害が発生しています。



2 徳山労基署管内での昨年(平成 31 年 1 月)以降の発生災害事例(抜粋)

年	業種	発生状況
元年	建築工事業	2階の資材置場でバランスを崩して、手すりのすき間から約 8 m 下に墜落(死亡)。
	解体工事業	スレート屋根を踏み抜いて、約 3 m 下に墜落(腰椎椎体骨折)。
	製造業	高さ約 3.5 m のタンクに上ったところ、バランスを崩して墜落(両足踵骨骨折)。
	運送業	トラックの荷台で整理中、ベニヤ板につまずき荷台から落ちた(右大腿骨骨折)。
		荷下ろしのためシートを外した後、トラック後部から落ちた(脳挫傷)。
		トラック荷台でフレコンのひもに引っ掛かり、バランスを崩して落ちた(外傷性くも膜下出血)。
	貨物取扱業	ハッチで足を踏み外して、約 2 m 下のデッキに墜落(右肩腱板断裂)。
	小売業	ピッキングリフトで出庫作業中、足を踏み外して約 2 m 下に墜落(右踵骨骨折)。
通信業	脚立を使用して電灯を交換中、バランスを崩して落ちた(右肘骨折)。	
旅館業	机の上に立ってエアコンを掃除中、足をすべらせ床に落ちた(外傷性くも膜下出血)。	
2年	解体工事業	はしごを使用して降りようと安全帯を外したときに、バランスを崩して約 3 m 下に墜落(肋骨腰椎胸椎骨折)。
	機械器具設置工事業	通路に仮置きした配管をまたぐ際、バランスを崩して約 6 m 下に墜落(頸椎骨折)。
	建築工事業	ユニック車の荷台でつり荷を監視中、バランスを崩して落ちた(右前腕開放骨折)。

安全に作業を行うためのポイント

～ 1 m は一命取る ～

足場や通路等では、作業中はもちろん、移動中にも墜落や転落が起こりうることを想定して、手すりの設置、安全に移動しやすい通路の確保、墜落制止用器具の使用を確実に行いましょう。

トラックでの荷役作業では、墜落時保護用の保護帽(ヘルメット)を必ず着用しましょう。荷台端の付近では、背を荷台外側に向けて作業を行わないようにしましょう。



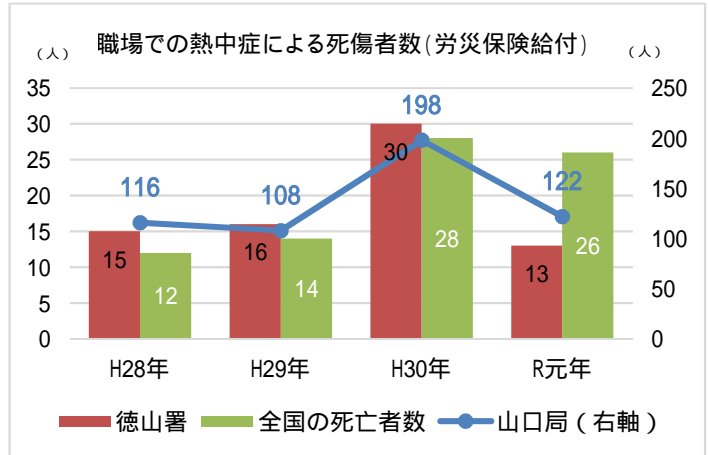
フルハーネス型の使用を!

今夏も防げ 熱中症！

1 徳山労基署管内での「熱中症」の発生状況

ためらわずに病院へ

令和元年は、熱中症による労災保険給付件数が前年に比べ大きく減少しました。全国値も同様に大きく減少しましたが、全国の死亡者数はわずかな減少にとどまりました。治療により症状の回復が早い方が多いことから、少しでも異変を感じたときは、ためらわず、すぐに病院へ運ぶか、救急車を呼びましょう！



2 徳山労基署管内での昨年（令和元年）の発生災害事例

発生月日	時刻	業種	症状の様子	年齢
6月 28日	10時台	鉄道業	朝から体調不良で作業中、嘔吐、手足のしびれ。	20代
7月	16日 11時台	運送業	トラックに乗務中、頭痛、脱水症。	40代
	17日 10時台	建設業	足場架設の施工中、気分不良、けいれん。	20代
	24日 10時台	警備業	交通誘導中、失神、大量に汗をかく。	60代
	25日 15時台	小売業	配達の準備中、倦怠感、脱水症。	30代
	27日 15時台	製造業	炉の清掃作業等で気分不良、脱水症。	30代
8月	1日 8時台	建設業	現場に移動中、けいれん、手足のしびれ。	20代
	6日 8時台	製造業	現場から移動中、手足がけいれん。	30代
	8日 11時台	建設業	屋上でスラブ配管工事中、意識障害。	30代
	23日 14時台	建設業	溶接補助作業中、めまい、頭痛、脱水症。	20代
9月	11日 15時台	製造業	汚泥搬出作業中、手足がけいれん。	50代
	22日 14時台	製造業	休憩中、吐き気、気分不良、両手のしびれ。	20代
	28日 15時台	清掃業	窯の掃除中、脱水症。	50代

☑ 熱中症予防のポイント

～ 5月から9月はクールワークキャンペーン ～

睡眠不足や体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。状況に応じて、作業の中断や短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。水分だけではなく、塩分も補給しましょう。

加えて、

本人のみならず、近くと同僚が異変に気がつくことが多いようです。単独作業は控え、管理者はもちろん、作業員同士でお互いの状態をよく確認しましょう。

